



みなさん、こんにちは 6月議会は19日～21日

3月議会以降の、まず、驚いたのが4月の大嵐と、五月連休の大雪です。

今はもう、緑も生い茂り、あんなに積もっていた雪も消えてしまいましたが、この「これまでにない」気候は、いろいろな場面で大きな影響を残しています。

みなさんの所では、被害はなかったでしょうか？

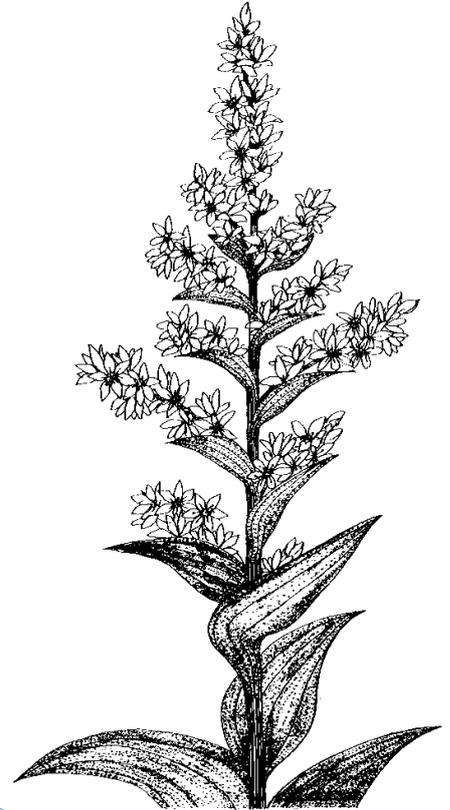
斜里町内全体で公共施設や道路の破損、畑の被害などが報告されました。

我が家も築22年をすぎているので家が揺れましたし、車庫のシャッターが壊れました。でも、これだけの被害の中、怪我をされた人が少なかったのが幸いでした。

ウトロではいつもより遅れましたが、地域の方みんなの参加で「ウトロ花いっぱい！」を実施できました！

遅れた季節のつじつが、どこかで合うようにと願っています。

文中の誤字脱字については、お許しください。
あらかじめごめんなさい。



「バイケイソウ」
あまり花を見たことがない方が多いかもしれませんが、とても綺麗な花を咲かせます。

第3回・斜里町議会臨時議会 4月15日 に開催されました。

1. 4月の大風災害の補正予算です。

この災害では14世帯35人の自主避難、床上浸水、床下浸水、農業被害なども多く、道路関係はオンコシン周辺の道路被害が大きく、いまだに復旧されていません。ウトロでは公営住宅の屋根が飛ぶなど、行政関係の被害は7000万円を超えました。



* 町からの気象情報や道路情報、防災、防犯メールに登録！

みなさん、携帯を持っていたら登録した方が良いですよ！まだの人はぜひ！今回の暴風雪のときにはとても役に立ちました。携帯を持っていない人には情報を伝えてあげてほしいです。登録できない人は役場に聞くか、知っている人にやってもらって！これからはヒグマ情報も発信されます。活用しましょう！

1. ゴミの分別が始まる前でも！

ゴミ処理ができない金属やガラスなどは一般ゴミに入れないようにしましょう！10月から分別は方法が変わりますが、今からでも実践してください。その場合、私は金属類は粗大ゴミに金属と書いて収集してもらいます。できることから！

金属やガラスはダメでしょう！



エコクリーンセンター・ゴミ処理場の課題と問題その対策案

「病院のボイラーから臭いがある」「煙が出ていた」「今は動いていないみたい」「どうしたの?」という声が聞こえています。前回のお便りには、設置した業者さんと運転の調整中という報告を受けて、そのことを書きました。今回は全員協議会でゴミ処理場のいくつかの問題点について説明がありました。その内容と、少し私が整理したことをみなさんにお伝えします。

なお、今回の全体の問題について議会では「新ゴミ処理施設調査特別委員会」を設置して問題解決にあたることになりました。

2. 生ゴミ堆肥化施設は

ゴミの水分量が問題＝水分量が多いので、発酵温度が上がらない、発酵しない。さらに、余剰水の処理を行わなくてはならない。水分が多く湿度が高く、臭気もひどいので脱臭ファンをつけ改良。

木質バークを混入するがバークを細かく粉碎しなくてはならないので以久科の破砕機を持ってくる。冬期のことを考えると、この施設には温度をあげる必要がある。そのために、新しいボイラーを増設置して温風加温の処置を行いたい。(この場合の燃料は生成物になります)

*そもそも、今更の話だとは思いますが、この高速堆肥化施設の設計は、本当にこれで良かったのだろうか?との疑問。町と設計業者の協議はどのようになっているのだろうか?



* 粗大ゴミの問題

粗大ゴミが貯まっている。その粗大ゴミの可燃ゴミを処理するために高温高圧処理の処理回数を増やすことにした。粗大ゴミの量は、可燃の部分で以前のように埋めることなく処理する計画だが、今回の暴風被害などで倒木、廃材が増えたことも要因。当初の計画の積算が甘かった事はないのだろうか?

* 最終処分場の埋立地に水がたくさん溜まっている問題

昨年記録的な降水量と、今年春の積雪融水も多かったのでたくさん水が貯まっている現状。大きな施設なので貯まった水が溢れるとか、漏れ出したということはないそうです。

しかし、一日の処理する量が20m³と言うことなので、現在推定で6700m³。

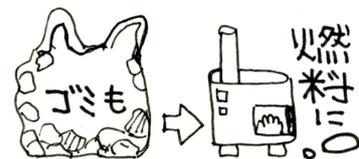
蒸発したり、また、雨が降ったりも考えても、単純に計算すると300日以上かかるってこと?になるのでしょうか?この水が無くならないと埋め立てはできません。滞留水問題は今後の天候にも左右される問題です。一日の処理量を多くするなど、解決の対策を考えなくてはなりません。



* 病院バイオボイラー

思っていた機能性能を発揮できないボイラーだった?ということ。しかし、運転しなくてはならず、やむなく生成物に木質燃料を混ぜて燃やすことになった。しかも、比率は4:6 予定していた生成物は余る。しかも、6月から9月はボイラーを必要としないので休止。さらに、余る。木質燃料を一定量で供給しなくてはならないので燃料供給装置が必要になる。

そもそも、求めていた機能性能を満たしていないボイラーで、いいのだろうか?何が原因でこんなことになったのだろうか?



* 高温高圧処理機

処理のできない金属やガラスなどの混入で機械内部の摩耗を

防ぐために、10月から「燃えないゴミ」の分別を始めます。病院のバイオボイラーで使う予定だった生成物の使用量が計画よりも少なくなったために、最初に説明した生ゴミの堆肥化施設のボイラーに使用する計画が出されました。



私の心配は、

生ゴミの堆肥化施設はボイラーを導入するだけで、本当に解決するのだろうか? 高温高圧処理で作られた生成物の利用条件がはたして交付金の条件を満たすものだろうか? 交付金を返してなどと言われないのだろうか?

6月議会で決まったこと、行うこと、協議されたことなど・・・

* 職員給与の削減

国家公務員の給与削減に準じて地方公務員の給与を引き下げようとする国が求めていることに応じて、斜里町でも給与削減を実施します。議員報酬も同様に削減されます。削減される期間は来月7月から来年の3月まで。他の市町村によっては実施しない所もあります。

* 新しい特別養護老人ホームの建設と開設準備に町から行う支援

現在の特養の場所とは違う所に、増設ではなく新築される施設の建設費の助成（北海道から）と、人材確保などに対する町からの助成金、そして建設する場所にある物置の撤去費用を町から支出する予算が計上されました。

（1億100万円）新しい施設の稼働が待たれますが、同時に、介護職員をしっかりと確保しなければなりません。特養に限らず、福祉現場での人材不足が問題になってきました。町からは、介護ヘルパー2級資格取得などに対し、補助金を出すなどの事業を実施しています。



* ウトロの雇用促進住宅を買い取って町の住宅とすること

廃止が決まっていたウトロの雇用促進住宅を、町が買い取って斜里町の賃貸住宅にすることになりました。10月からです。現在入居されている方々はそのまま住むことができます。さらに、希望する方はどなたでも入居できるようになります。（原則、住所のあるかた）1階から3階までが40000円、4階と5階は30000円、駐車場は1000円。事業所が借りることもできます。

入居者の募集が行われます。購入金額は土地も合わせて約3,200万円です。

また、スキー場下の香川公営住宅は4月の大風で屋根がはがれた棟は解体撤去。他の3棟は屋根修理をして平成31年には撤去の予定です。あと6年。今回の補修は絶対必要ですね。

* 図書館の設計と設計費・その他関連する工事のこと

町と、設計者と図書館関係の方々で協議されて来た設計は、おおよその図面が出来上がり、議会ではいくつかのレイアウトや意匠について意見が出されました。私は、屋根形状が複雑であることと、風の影響が心配される部分がありました。さらに、新図書館開設までの約半年間、図書館が使えなくなるスケジュールに対して、もう少し短い期間にしてほしい、さらには代替えのサービス提供を考えてほしいと伝えました。

風の強い斜里町。雨漏りの問題は困ります。



* 観光基本計画とこれから取り組む観光振興計画について協議

観光基本計画は、入り込み数を目標にするのではなく、満足度を高める取り組みに向かって進んで行くという方針を示して、作成されます。同時に、今後は観光振興計画に取りかかり、来年度末には完成させたいとのことでしたが、私は、なんの資料や数字もない中で、時間が少なすぎると思います。なかなか、大変な作業だと思います。どうして早くから取り組まなかったのか・・・悔やまれます。そんな中、観光客の動向調査の予算を緊急雇用事業の中で調査員を雇用して実施することになりました。少ない調査データの中、貴重な資料になるような取り組みを期待しています。



* 国民健康保険料

今年度の国民健康保険料の算出が行われました。昨年よりも少しですが額が上がっています。国民健康保険ってこれから先、どうなっていくのか非常に不安ですね。それでも、斜里町は一気に保険料が高くないように、いくつかの対応を実施しています。

* 第6次総合計画の進捗状況

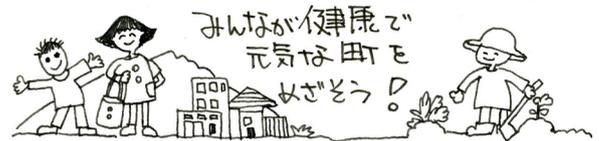
多くの町民の方が参画して構成されている検討委員会の経過報告を受けました。予定していた時間よりも延長されましたが、丁寧に議論が行われているという印象を受けました。全体的な方向性が計られることと、より多くの意見や協議がされることが、これからの町の計画には必要なことだと思います。

個人的には守るだけではない、まちづくりを打ち出してほしいですね。





6月議会の一般質問です



・風疹のワクチン接種に町から助成を！

新聞やニュースで風疹にかかる人が増えていて、その数が昨年の4倍を超しているとの報道がされています。風疹自体は軽い症状ですが、もしも妊娠している人がかかるとお腹の赤ちゃんに大きな障害が出る場合があると報告されています。できるだけ多くの人に接種してほしいと思いますが、1万円近い金額と負担が大きく接種が進んでいません。町から、この接種をする人に助成をしてほしいと思います。答弁からは前向きな対応を期待できそうだと感じました。

2・「地域おこし協力隊」を斜里町でも採用しては？

やはり町の活性化には、様々な業種や、年代の交流人口が必要です。この「地域おこし協力隊」では都会からやって来た人の4割が定住しているそうです。斜里町は地域おこしのために動ける素材が多く、やってくる人にとっても定住につながる環境が多いはずだと思います。しかし、町長の答弁は、受け入れる町の準備や、受け入れる仕事の整理が大変であることなどと答えられました。まちづくりにとって、何が必要か、何をすべきか、という議論や方向が示されていないのだと思いました。たとえば、情報発信、情報収集、観光施設やスポットの掘り起こし、整備、見回り、利用の調査とサービスなど、いろいろあると思うのですが、全体的に内向きのよう感じます。

もっと、様々な取り組みにチャレンジすべきでは？と思いました。

3・学校が2学期制になって5年目。しっかりと検証をしておくべき

平成20年4月から斜里町内の全小中学校がこれまでの3学期制から2学期制にかわりました。もちろん2学期制のメリットを選択したのですが、最近はこの「ゆとり教育」に対しての方向性も変わりそうな状況があります。

2学期制が斜里町にとってはプラスとなっているのかどうなのか、教育長は問題はないと答えられましたが、であるならば、斜里町の教育環境としてこの2学期制を取り入れて5年のこの時期に、しっかりと検証をふまえておく必要があると思います。特に斜里町では基礎学力の低下が課題となっています。基礎学力の向上を目指すにあたって斜里町の教育行政の評価点検に明記することは必要です。



こんなことを考えて、今回は一般質問を行いました。

- * ここでお知らせできること他にたくさんいろいろなことがあります。どんなことでもけっこうですので、お電話などいただければと思います。
- * また、こうしたお便りを読みたい方がいらっしゃいましたら、送りますから、そちらもお気軽にどうぞ！

活気ある季節になりました。7月には竹富町を訪問します。8月には委員会の道外研修、その間にねぶた祭り、弘前との交流会、などいくつかの行事があり、今回は特別委員会も設置されたので9月議会までは「あっ」と言う間ですね。
しっかり、がんばります！

☀️☀️☀️☀️ご意見を お寄せください☀️☀️☀️☀️



ツイッターやフェイスブックをやっています。興味のある方は、是非、参加してみてください。いろんな考え方があって楽しいですよ。*メールを送って戴くときにはお名前、連絡先を書いてください。お願いします。

いろいろな形で議会も私も情報発信しています。みなさん、見てください、聞いてください！



議会がなにをやっているのか分からないと言われなように！

- ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
 - ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
- 「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ